

モニタカメラ保護用避雷器

SA-MCシリーズ



SA-16MC

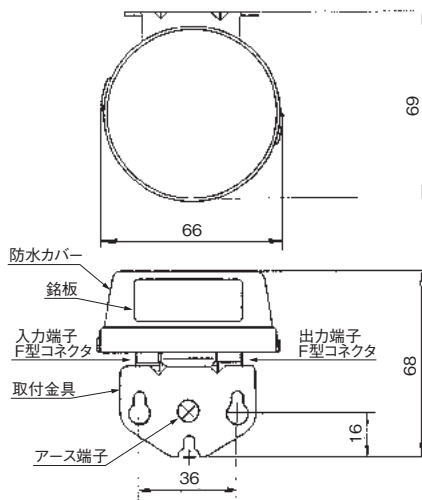
形式

SA-□MC
 最大入力電圧(波高値)
 16 : 16V DC
 25 : 25V DC

特長

1. 同軸ケーブルから侵入する誘導雷サージに対して、モニタカメラを保護
2. 電源重畳タイプに対応
3. 屋外取り付けが可能
4. サージ耐量 3000A (8/20 μ s)

外形寸法図



接地線使用電線サイズ : 2mm²以上

特性表

形式	最大負荷電流	動作開始電圧 ^{注1)} 同軸ケーブル芯線-編組間	直流放電開始電圧 ^{注2)} 同軸ケーブル編組-接地間	制限電圧 ^{注3)}		放電耐量 ^{注4)} 線間、対地間	内部抵抗 (一線)	静電容量 ^{注5)} 線間、対地間
				同軸ケーブル芯線-編組間	同軸ケーブル編組-接地間			
SA-16MC	200mA	22V \pm 10%	90V \pm 20%	25V以下	300V以下	3000A	2 Ω \pm 10%	約100pF
SA-25MC	200mA	33V \pm 10%		42V以下				

注1) 直流1mA印加時の動作開始電圧を示す。

注2) 直流電圧印加時の放電開始電圧を示す。

注3) 雷インパルス電流波形 1000A (8/20 μ s) 印加時の制限電圧を示す。

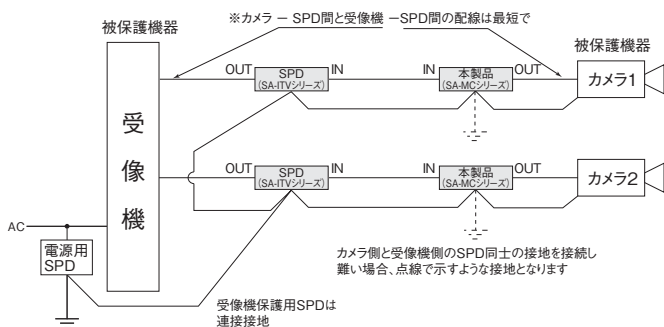
注4) 雷インパルス電流波形 8/20 μ sで各間に5分間隔2回印加

注5) 1MHz、参考値

注6) 使用温度範囲 -20 $^{\circ}$ C \sim +50 $^{\circ}$ C

取り扱い

1. 接続例



2. ケーブルの接続

雷サージの侵入する恐れのある側の同軸ケーブルをIN側端子に接続してください。
 (一般には屋外に出るケーブルをIN側に接続します。)

3. 接地

SPDの接地線と機器の接地線は、接続し1点で接地してください。

4. 防水キャップについて

- (1) 屋外設置のときは、必ず防水キャップを接栓にかぶせてください。
- (2) 防水キャップの切り口と使用するケーブルの太さを一致させてください。
- (3) 防水キャップは必ず接栓を取り付ける前にケーブルに通してください。(後からは取り付けられません。)